

2021年12月吉日

西郷南洲東京顕彰会関係 各位

西郷南洲東京顕彰会

会長 隈元泰弘

拝啓 2019年勉強会の会合以来、大変長い間ご無沙汰し致しております。

前回ご連絡の時 中国の唐時代の詩人、劉希夷 の下記詩作をご紹介します。

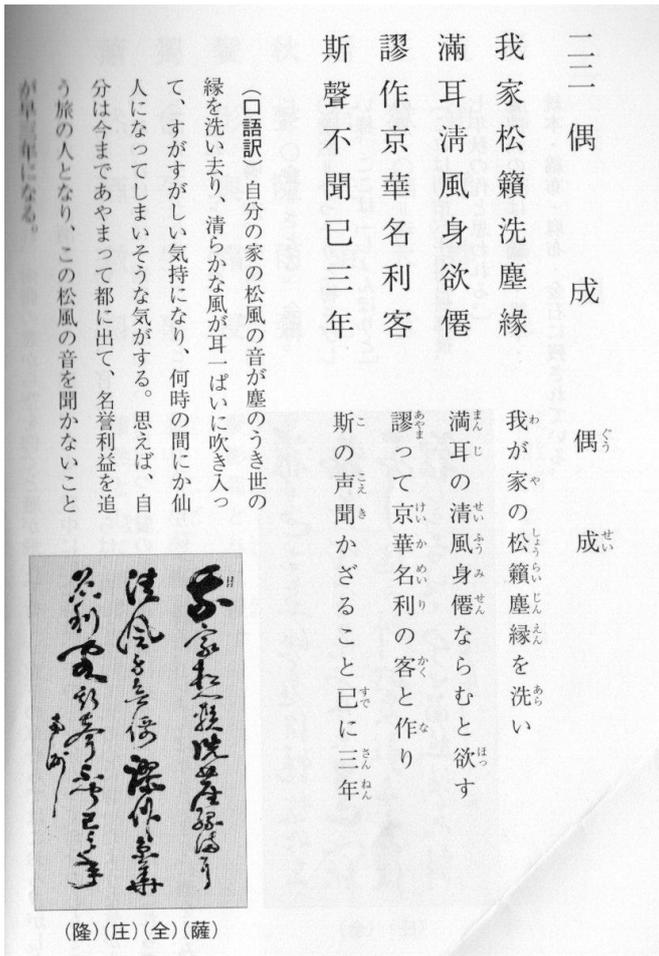
「^{あいに}年年歳歳花相似たり 歳歳年々人同じからず」

(花は年ごと変わることなく咲くが、人の境遇・健康状態等は年ごとに変化し、同じでない) この詩に「歳歳年々人同じからず」ありますが、お変わりございませんか。

海外では未だコロナの猛威が継続している国々もある状況下、わが国は沈静化の兆しが見えておりました。しかしながら、昨今、新たにオミクロン株が南アで発生し世界各地に拡散しており、我が国も水際対策も含め冬場にかけて感染防止に十分な対策を講ずる必要があると警告されております。

この様な状況下、不本意ながら、次期勉強会等会合を確定することできず、関係各位皆様には大変申し訳なく思っております。事情ご賢察戴きご理解賜れば幸いです。

状況が好転した折に、改めて勉強会等の会合日時をご連絡させていただきますので、お含み戴ければ幸いです。取り急ぎお詫びかたがた、状況ご連絡まで。皆様、健康にご留意の上、良き新年をお迎えください。



このたびのコロナ禍で活動が制約され、自宅におられる時間が多いかと思えます。このような時、静かに西郷さんの詩を味わうのも良案かと思ひ、西郷さんの詩を記載します。西郷さんは明治4年請われて上京し、廃藩置県などを断行した後、明治6年の政変に遭遇し、下野、11月故郷鹿児島に帰郷したときの詩です。西郷さんにとって久しぶり且つ、つかの間の平穏清々しい気持ちになった一瞬でした。4年後には激動の西南戦争に巻き込まれ命を落とされておられます。

しょうらい
松籟：松の梢（こずえ）に吹く風。また、その音。
 ジンエン
塵縁：俗世間のわずらわしい関係。世俗とのつながり。
 せん
僊；仙人、山人
 きょうか
京華：みやこ・花の都・文物や人材が集まる華やかな場所
 みょうり
名利：世間的な名声と現世的な利益。また、それらを欲すること。